

開発ト
アプリ
ソフト
アンドロイドにも対応
アイキューブド 市場急拡大で投入

ソフトウェア開発のアイキューブドシステムズ(ICS、福岡県大野城市、佐々木勉社長)は、米グーグルの基本ソフト(OS)「アンドロイド」搭載の高機能端末向けアプリを低コストで開発できるソフトを投入する。これまで米アップルのOSだけに対応していたが、アンドロイド搭載の携帯端末の市場が急拡大していることから収益源を広げる。

ソフト名は「Yubizoenjin」で12月中旬に発売する。価格は月額制で近くつめる。

商品のバーコード読み取り機能と在庫管理システムを組み合わせたり、顧客情報から製品受注までの営業支援システムといった企業向けアプリを「従来に比べ10分の1以下のコストで開発できる」(ICS)のが特徴。開発したアプリはアンドロイド搭載の高機能携帯

電話(スマートフォン)や多機能情報端末などで使い、企業業務の効率化につなげてもらう。

これまでYubizoenjinは「iPhone(アイフォン)」などアップル向けだけに対応していたが、OS市場でアンドロイドが急激に勢力を増していることを受けて対応ソフトを開発した。アンドロイドを巡ってはシャープや英ソニー・エリクソンなどがスマートフォンに採用している。